

研究課題名	アルツハイマー型認知症を対象とした腸内微生物叢のメタゲノムおよびメタボローム解析
研究の意義・目的	近年、様々な病気の病変形成に、腸内細菌の種類や細菌の産生する代謝産物が関与することが分かってきています。アルツハイマー病は、患者さんの数が多いですが、まだ原因は、はっきりとわかっていません。本研究では、アルツハイマー病と腸内細菌の種類や代謝産物との間に関連性があるかどうかを検討することを目的としています。
研究を行う期間	機関長許可日～2028年9月30日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	機関長許可日～2028年8月31日に大阪市立弘済院附属病院の精神科、大阪市立弘済院第2特別養護老人ホーム、もしくは大阪公立大学医学部附属病院神経精神科で、アルツハイマー型認知症の診断・療養のために入院・入所されている方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。試料・診療情報は、特定の個人を識別できないように、研究用IDをつけて管理します。 試料：【糞便】 診療情報：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、過去の頭部画像（CT画像、MRI画像、PET画像）】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関（大阪公立大学大学院医学研究科）に頂いた試料・情報を提供します。その後、特定の個人を識別できない形で、「シークエンスライブラリー（糞便中の微生物の遺伝子配列を読み込むために調整した溶液）」を共同研究機関（東京大学医科学研究所）へ提供します。
この研究を行っている共同研究機関	東京大学医科学研究所 研究責任者 所属：ヒトゲノム解析センター メタゲノム医学分野 職名：特任教授 氏名：植松 智 大阪公立大学大学院医学研究科 研究責任者 所属：ゲノム免疫学 職名：教授 氏名：植松 智（兼任） 大阪公立大学大学院医学研究科 研究責任者 所属：神経精神医学 職名：講師 氏名：丸田 純平
試料・情報を管理する責任者	東京大学医科学研究所 研究責任者 所属：ヒトゲノム解析センター メタゲノム医学分野／国際粘膜ワクチン開発研究センター自然免疫制御分野 職名：特任教授 氏名：植松 智
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	電話番号：(06) 6645-3926 / (03) 6409-2163 大阪公立大学大学院医学研究科 ゲノム免疫学 ／東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター メタゲノム医学分野 担当者：植松 未帆  電話番号：06-6871-8013 大阪市立弘済院附属病院精神科 担当者：内田 健太郎